

みずほCustomer Desk Report 2024/04/15 号 (As of 2024/04/12)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	153.10
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	153.21	1.0725	164.34	1.2551	0.6540
SYD-NY High	153.39	1.0735	164.38	1.2558	0.6543
SYD-NY Low	152.60	1.0623	162.30	1.2427	0.6457
NY 5:00 PM	153.27	1.0642	163.10	1.2449	0.6463
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,983.24	▲ 475.84	日本2年債	0.2700%	0.0100%
NASDAQ	16,175.09	▲ 267.10	日本10年債	0.8600%	0.0100%
S&P	5,123.41	▲ 75.65	米国2年債	4.8935%	▲ 0.0579%
日経平均	39,523.55	80.92	米国5年債	4.5521%	▲ 0.0732%
TOPIX	2,759.64	12.68	米国10年債	4.5165%	▲ 0.0670%
シカゴ日経先物	38,900.00	▲ 765.00	独10年債	2.3570%	▲ 0.1185%
ロンドンFT	7,995.58	71.78	英10年債	4.1325%	▲ 0.0685%
DAX	17,930.32	▲ 24.16	豪10年債	4.2950%	0.0380%
ハンセン指数	16,721.69	▲ 373.34	USDJPY 1M Vol	8.65%	0.10%
上海総合	3,019.47	▲ 14.77	USDJPY 3M Vol	8.88%	0.19%
NY金	2,374.10	1.40	USDJPY 6M Vol	8.93%	0.08%
WTI	85.66	0.64	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.57%	Yen Call Over
CRB指数	297.87	2.32	EURJPY 3M Vol	8.82%	0.44%
ドルインデックス	106.04	0.76	EURJPY 6M Vol	9.13%	0.46%

東京	153.21レベルで東京市場オープン。直後に東京時間高値となる153.30を示現するも仲値にかけて売りフローが出て、152.96まで下押し。ただ、結局のところ153円割れの底堅さを確認した様相となっており、その後は終始bid地合い。153.23レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、153.23レベルでオープン。特段の材料がない中、方向感なく推移し、結局153.16レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0704レベルでオープン。ECBメンバーによる6月利下げを支持するハ派発言が出る中1.0645まで売られ、結局1.0651レベルでNYに渡った。ドル指数は終日底堅く推移した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は153円台前半でスタート。米金利高、中東情勢を巡る不安を受け、リスク回避のドル買いが優勢となり、153.39まで上昇。しかし、その後は米金利が低下する動きを受け伸び悩み、153.16レベルでNYオープン。朝方は先述の中東情勢の懸念が一段と意識され、リスク回避の債券買いと円買いの動きが相まって、152.60まで値を下げる。その後、153.10付近まで戻す場面も見られたが、続いて発表された米4月シカゴ大学消費者マインド指数(速報値)が予想を下回り、発表直後は再び152.70近辺まで売られる。売り一巡後は、シカゴ大学5-10年先の期待インフレ率が予想を上回っている事が意識されてか、米金利が戻す展開に追随し、153円台を回復する神経質な値動きが続く。午後はじりじりと値を戻し、終盤は153.33まで反発し、153.27レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。先述のリスク回避のドル買い地合いが重しとなり、ユーロドルは軟調な値動きとなり、1.0651レベルでNYオープン。朝方は市場全体がリスクオフの中、引き続きドル買いの流れが一段の下押し要因となり、1.0623まで値を下げる。その後は冴えないシカゴ大学消費者マインド指数(速報値)の結果を受け反発し、1.0640近辺まで戻す。午後は注目材料に欠き、1.0650付近でほぼ横ばいで推移し、1.0642レベルでクロス。

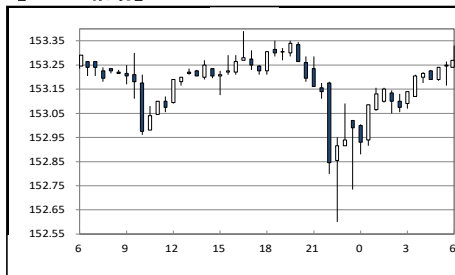
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月12日	13:30	日 鉱工業生産(前年比)・確報	2月 -3.9%	-
	15:00	独 CPI(前年比)・確報	3月 2.2%	2.2%
	15:00	英 鉱工業生産(前年比)	2月 1.4%	0.6%
	15:00	英 製造業生産(前年比)	2月 2.7%	2.1%
	15:45	仏 CPI(前年比)・確報	3月 2.3%	2.3%
	16:10	中 輸出(前年比)	3月 -7.5%	-1.9%
	16:10	中 輸入(前年比)	3月 -1.9%	1.0%
	16:12	中 貿易収支	3月 \$58.55b	\$69.10b
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	4月 77.9	79.0

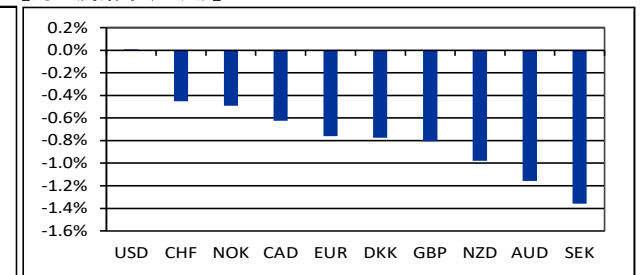
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月15日	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 0.8%	-3.2%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	4月 -5.0	-20.9
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	3月 0.4%	0.6%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	3月 0.5%	0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.00-154.00	1.0600-1.0750	162.00-164.00

【マーケットインプレッション】

金曜日のドル円は底堅く推移。153.21レベルでオープンした東京時間のドル円は狭いレンジ推移に終始。海外時間に入ると中東情勢を巡るリスク回避のドル買いによりこの日の高値153.39まで上昇も、その後は同理由からリスク回避の円買いが加速。この日の安値152.60をつける。発表された米経済指標の結果内容に上下するも値を戻し、153.27でクロース。

本日のドル円も底堅い推移を予想。13日夜にイランがイスラエルに向けてミサイルを発射したことが公表された。地政学リスクの再燃から安全資産としての円買いはドル円上昇を阻む一因となろう。しかし、足元の米国経済の強さ、米金利高の展開や原油価格の高騰等のドル買い要因は相応にあることから、ドル円の下値は引き続き堅いとみる。本日は米3月小売売上高の発表が予定されており、指標結果が上振れた場合にドル円は154円を目指す展開を想定しておきたいものの、日銀による介入警戒感の高まりから積極的に上値を追う展開とはならないものとみる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。